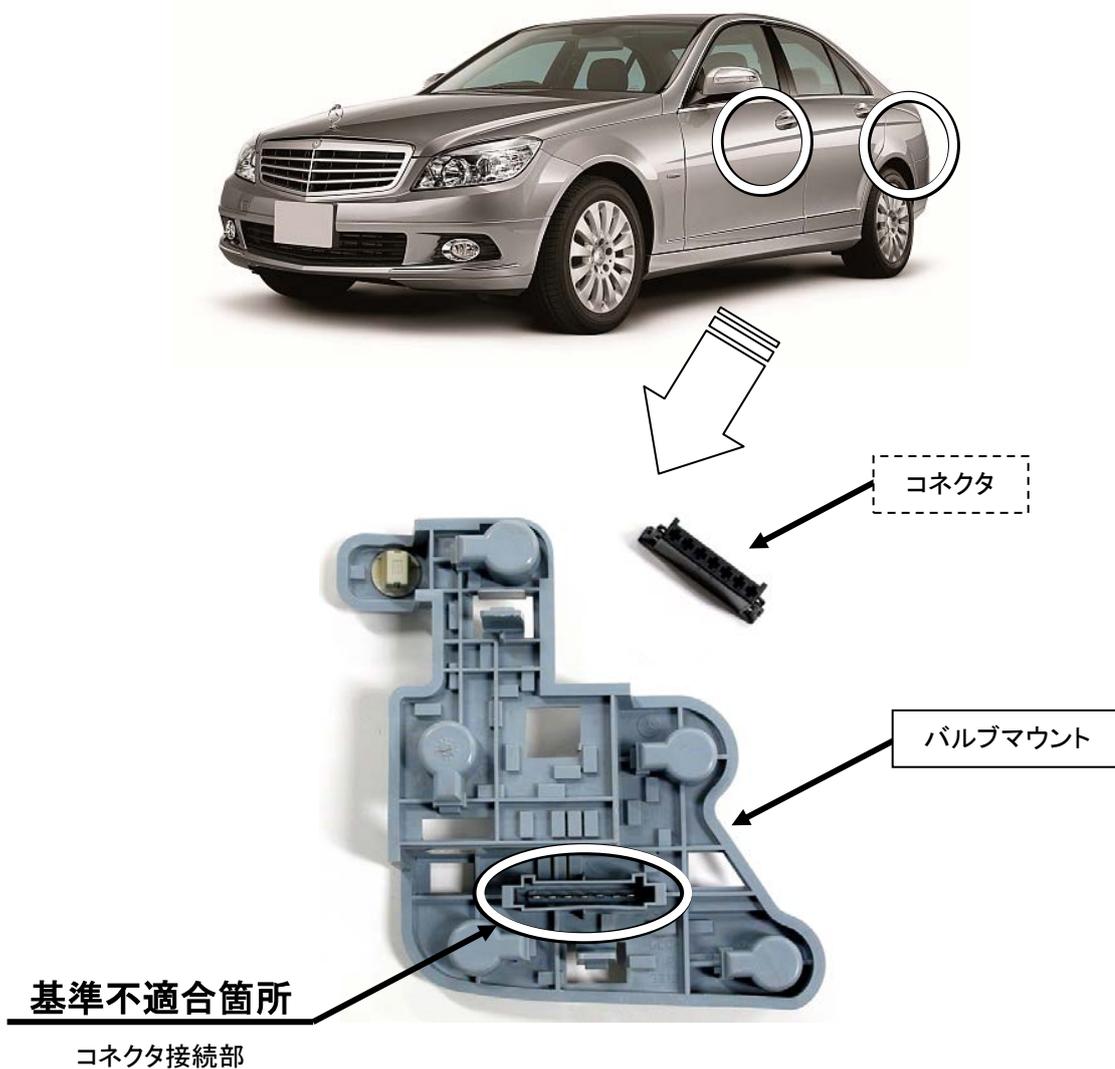


改善箇所説明図



注： は、損傷がある場合に交換する部品を示す

注： は、仕様を確認して対策品でない場合に交換する部品を示す

リアコンビネーションランプにおいて、バルブマウントのコネクタ接続部の設計が不適切なため、使用過程で当該部の接触抵抗が増加して発熱するものがある。そのため、リアシグナル検知制御モジュールが抵抗増加を検知して、警告を表示するとともに、側方灯、尾灯、後部霧灯、駐車灯、制動灯、後退灯及び方向指示器の一部、または複数が不灯になるおそれや発熱によりコネクタ接続部が溶損するおそれがある。

改善の内容

全車両、バルブマウントの仕様を確認して対策品に交換する。また、コネクタを点検し、溶損しているものは新品に交換する。